



しろくまだより

- 温暖化で絶滅の危機『しろくま』を救え in やつしろし -

編集/発行 2023. 5. 23 八代市環境課 TEL33-4114

《今回の記事》

- ・省エネに取り組みましょう
- ・生ごみ堆肥化容器等設置助成金等について
- ・油流出事故に注意しましょう

これまでの「しろくまだより」は市ホームページでご覧いただけます。



しろくまだより



サイト内検索に入力↑

QRコード読み取り↑

省エネに取り組みましょう

みんなで目指そう！ゼロカーボンやつしろ

地球温暖化は、世界共通の喫緊の環境問題です。

このまま、温室効果ガスが増え続け地球温暖化が進むと、異常気象などの増加やそれに伴う豪雨や大型台風の発生など、自然災害の発生リスクが高くなることが予測されています。

二酸化炭素などの温室効果ガスを削減するためには、私たち一人ひとりの取組が必要です。

今回は、家庭における「簡単にできる省エネのポイント」について紹介します。

ポイント①：電化製品を上手に使いましょう！

家庭の電気消費量の約4割は、冷蔵庫、照明器具、テレビ、エアコンの使用によるものです。これらの家電製品を上手に使うことで、節電になるだけでなく電気代も減らすことができます。

◆冷蔵庫

- ・無駄な開閉を控え、空ける時間を短くしましょう
- ・食品等を詰め込みすぎないようにしましょう

◆照明器具

- ・こまめな掃除で明るさをアップしましょう
- ・点灯時間を短く、無駄な灯りは消しましょう

◆テレビ

- ・消すときは、主電源をオフにしましょう
- ・省エネモードを活用しましょう

◆エアコン

- ・月に1、2回程度、フィルターを掃除しましょう
- ・扇風機等を使って空気を循環させましょう

ポイント②：買い換えのときは省エネ製品を上手に選びましょう

古い家電を使い続けるよりも、最新の機器へ買い換えるだけで大きな節電効果が期待できます。買い換えのときには、省エネ性能にも注目してみましょう！

◆冷蔵庫は、10年前と比べると約39～46%の省エネ

生活スタイルに合わせて容量や特長を選ぶことで、大幅な省エネが期待できます。

(電気代換算で、年間約5,300～7,160円の節約)

◆電球形LEDランプは、白熱電球と比べると約86%の省エネ

電球形LEDランプは、省電力かつ長寿命です。

(電気代換算で、年間約2,880円の節約)

◆テレビ(40型)は、10年前と比べると約42%の省エネ

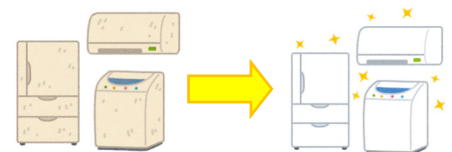
最近の液晶テレビでは、LEDバックライトを採用した機種が増え、省エネ性能が大幅に向上しています。

(電気代換算で、年間約1,890円の節約)

◆エアコンは、10年前と比べると約10%の省エネ

便利機能や快適機能も満載です。家の構造や間取りなど、部屋の条件を考慮して選びましょう。

(電気代換算で、年間約2,850円の節約)



生ごみ堆肥化容器等設置助成金について

生ごみ減量化のため、生ごみ堆肥化容器や電気式生ごみ処理機を購入される家庭に助成金を交付します。

○生ごみ堆肥化容器

助成金額：購入金額の2分の1（1基につき上限5,000円）
助成対象数：1世帯あたり1年間に3基まで



○電気式生ごみ処理機

助成金額：購入金額の2分の1（上限30,000円）
助成対象数：1世帯あたり、過去5年間に1機まで

- ・購入する前に循環社会推進課への登録申込（電話での申込可）が必要です。
- ・申請後、市の職員が設置確認を行います。

※申請書類は、市ホームページからダウンロードできます。
申請書は、循環社会推進課、各支所地域振興課で受け付けます。



◆詳しい情報については、右記QRコードを読みとってください。

【お問合せ・登録申込先】循環社会推進課 TEL34-1997

油流出事故に注意しましょう

毎年、事業所などの貯油タンクや配管、暖房施設から油が流出する事故が発生しており、その原因の多くは、管理不備や操作ミスといった人的ミスです。油が河川などに流出すると、上水道や地下水、農業、漁業などに大きな影響を及ぼすおそれがあります。

ここ数年、記録的な大雨が発生しており、また、これから梅雨や台風のシーズンにもなります。タンクなどをお持ちの方は今一度点検してください。

万が一、油流出事故を起こした場合は、速やかに関係機関（市役所、保健所、消防署、警察など）へ連絡するとともに、流出先の確認や流出防止対策の実施、流出した油の回収などの応急処置をしてください。



油の回収・処理には多額の費用がかかり、その費用は原因者が負担することになります。

“広げよう！エコ8(エイト)行動”

＜環境行動8＞環境問題について学び、行動します。

- 環境の現状に関心を持ち、環境保全に対する理解を深めましょう。
- 一人ひとりが、できることから実際に行動しましょう。